

## LPガスCP情報(2014年12月積み)

### 1. 12月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **550**  $\text{ドル}$  (前月比  $-60$   $\text{ドル}$ )

ブタン **570**  $\text{ドル}$  (前月比  $-30$   $\text{ドル}$ )

#### ① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、供給が潤沢なのに対し消費国の在庫が高いためマーケットは需給緩和感が強く、原油市況、石油製品市況も急落するなか、LPガススポット市況は大幅に続落した。CP先物は月間を通して急落、第2週で600  $\text{ドル}$ を割り込んだ。なお、期先は6月までバックワーデーション(期先安)。極東CFRは月間で大幅軟化、第4週でプロパン580  $\text{ドル}$ 、ブタン610  $\text{ドル}$ 。フレート市況は船舶需給緩和で軟化、前月から10  $\text{ドル}$ 以上の下落、バンカーオイルは前月比45  $\text{ドル}$ の急落。ナフサは原油市況の急落で第4週は674~622  $\text{ドル}$ まで下げており、月間平均で668  $\text{ドル}$ と前月比82  $\text{ドル}$ の大幅続落、ブタンも安い。一方、米モンテベルビュープロパンスポット価格は、原油市況の軟化を受けて18日に400  $\text{ドル}$ /ト割れ、19日には370  $\text{ドル}$ に急落、軟調に推移した。

12月CPは前年同月比プロパン550  $\text{ドル}$ 、ブタン655  $\text{ドル}$ の下落、半額以下となった。原油急落、シェール革命の影響が顕著になってきた。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン2.3、ブタン7ポイントの上昇、前年同月比ではプロパン35、ブタン46ポイント低い。

|          | 第1週  | 第2週  | 第3週  | 第4週  | 平均   |
|----------|------|------|------|------|------|
| フレート     | 98.9 | 86.4 | 86.6 | 80.0 | 88.0 |
| CP先物指標:P | 598  | 580  | 595  | 555  | 582  |
| CP先物指標:B | 600  | 580  | 615  | 575  | 592  |

#### ② 原油市況等

原油市況をみると、10月WTIは78  $\text{ドル}$ 台後半で始まり終始軟調に推移、28日には66.15  $\text{ドル}$ まで値を沈めた。ファンダメンタルズの弱さを地政学的リスクが下支えしてきたが、11月OPEC総会を前に減産合意が困難視され、欧州、中国等の景気減速懸念とリビア原油輸出増からブレント、ドバイ原油も急落した。一方、米原油生産量はEIA統計(1983年~)で最高の908万bbl/dを記録、米原油在庫は製油所稼働率が高水準となったものの増加した。シェール革命の影響がOPECをして減産を見送らせ、エネルギー市場に劇的な変化をもたらした。原油先物市場は投機資金がドル高・株式(最高値更新)にシフトされ、総取組高は昨年1月以来の150万枚割れが続き、18日時点の大口投機玉の買越残高は25.5万枚と過去最高を更新した6月から45%の減少、手仕舞い売りが進んだ。

○11月積みアラビアンライト(11月1~28日)は76.02  $\text{ドル}$ (前月比-10.58  $\text{ドル}$ )

熱量等価AL100% プロパン623.30  $\text{ドル}$ /ト ブタン614.75  $\text{ドル}$ /ト

AL比 プロパン 88.24% ブタン 92.72%

### 2. 2014年12月~2015年1月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

| 適用期間    | TTS    | P:円建CP | B:円建CP | P前月比   | B前月比   |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 16~15日① | 118.55 | 65,203 | 67,574 | -2,900 | +600   |
| 26~25日② | 115.03 | 66,700 | 67,300 | -6,600 | -7,100 |
| 1~30日③  | 117.21 | 68,000 | 68,600 | -5,300 | -5,800 |

\*TTS平均は①が11月16日~11月30日まで、②は10月26日~11月25日

③は11月1~30日、①は1月仕切への影響、②~③は12月仕切適用。②、③は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。